

診療科紹介

## 循環器内科

高齢化が著しいわが国では心不全患者が急増しており、心不全パンデミックとも言われています。確かに最近、高齢者の入院は肺炎も多いですが、慢性心不全の急性増悪の入院も多く、また併発も多く見られます。

心不全の薬物療法は2021年にガイドラインが大改訂されました。昔は利尿剤と強心剤のシグタリスだけでしたが、2000年代に基本薬としてACE阻害剤(又はARB)とβ遮断薬が重要視され、2011年にはこの2剤にミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)を追加した3剤で心不全の予後を改善できる事がわかりました。2021年の改訂では基本薬にACE/ARBで効かない時にARNI(エンレスト錠)と4剤目の基本薬として糖尿病薬のSGLT2阻害薬の一部の薬が加わり、又併用薬にも新薬が続々出てきています。心機能の悪い心不全に使う事が多いので、出来れば入院で開始したい薬もあります。当院でも心不全の新薬をそろえて個々の心不全に対応ははじめています。

また、心不全のどの段階でも運動療法(心臓リハビリ)は重要視されました。当院でも心臓リハビリの集団療法を5台のマシンを使って専門の療法士と看護師で小一時間のメニューで実施しております。BNP800以上のごく軽度の潜在性心不全から適応がありますので、お気軽にご相談ください。

当院では循環器の検査として、心エコー、頸動脈エコー、血圧脈波(ABP)、下肢動脈エコー、下肢静脈エコー、トレッドミル運動負荷心電図、ホルター24時間心電図(当院で解析)、心臓CT(冠動脈CT)、下肢動脈CTアンギオなどができます。可能な事前内科外来看護師に検査予約の電話を入れていただけるとスムーズにできますのでご利用ください。心臓カテーテル検査は随分件数は減りましたが、ペースメーカー植込みや電池交換は普通にできます。

富田病院 循環器内科 富田 哲也



◎受付時間/午前8:30-11:30 ◎診療時間/午前9:00-12:00 ◎休診日/土曜午後・日曜・祝日

富田病院	月	火	水	木	金	土
①		富田哲	富田哲		富田哲	村上*
②	岡田			岡田	岡田	

\*月1回午後

◎受付時間/午前8:30-11:30 ◎診療時間/午前9:00-12:00 ◎休診日/土曜午後・日曜・祝日

京都博愛会病院	月	火	水	木	金	土
循環器内科		岡田		富田哲		

## 循環器内科ドクター自己紹介

京都博愛会 理事長 富田 哲也

昭和59年川崎医大卒後、京大病院で研修医を経て国立姫路病院、滋賀成人病センターで循環器の基礎を学びました。特に滋賀にいた約2年間はカテーテル検査と臨床の毎日でしたが、若かったことから楽しく乗り切れました。学会発表も沢山経験させていただきました。

その後、京大循環器大学院に戻りました。心不全モデルの動物実験と基礎研究の5年間はこれも厳しい実験生活でなかなかうまくいかず大変でしたが、指導医の村上先生と同じ研究室の同僚の先生方との協同作業で成果を出す事ができ、アメリカのAHAの学会発表など今では良い思い出です。

岡田先生とは国立姫路病院と大学院の時一緒だった御縁で来てもらっています。私はまだ心臓カテーテル検査、治療から完全には引退していません。世代交代が近いので、もう少しがんばります。

富田病院 副院長 岡田 幾太郎

昭和58年京都大学卒業です。還暦を過ぎ、循環器専門医ではありますが、心カテーPCI等の侵襲的な検査・治療からは引退いたしました。

狭心症等の虚血性心疾患については、当院での冠動脈CT検査にて高度狭窄が確認され、心筋虚血の原因となっていることが疑われる場合には、大学病院・日赤など、PCIの症例が豊富で緊急対応が可能な施設へ紹介しております。また、心房細動等の不整脈でカテーテルアブレーションの適応がある場合も同様です。

ただ、どの疾患でも病状の改善には最適な内科的治療が必須となりますので、薬剤を中心とした保存的治療や心臓リハビリテーションを、外来・入院ともに丁寧に行っております。総合内科専門医でもありますので、ご高齢で循環器疾患以外の多くの併存疾患をお持ちの方の診療も、心血管疾患の危険因子である高血圧、脂質異常症、糖尿病の治療と併せて行っております。

連携 医院紹介

烏丸五条みどりクリニック  
「いつも温かい医療を手渡します」

当院は平成23年から（機能強化型在宅療養支援診療所）として、高齢者施設にお住まいの方、在宅にて療養中の方に訪問診療を行っております。

少子高齢化が進行し、在宅医療の必要性が叫ばれる中、背景として超高齢化社会の進行が広く指摘されています。その現実を反映するかの様に、在宅医療に求められるニーズは多種多様です。「通院が困難になってきたけど何とか住み慣れた自宅で療養したい」「退院後の生活が不安（医療面）」等。多様なニーズに対応する為には多職種

との連携や病診連携が必要不可欠です。

博愛会病院様には当院標榜として精神科を掲げている事から、在宅患者様のご紹介から入院のお受け入れ等で平素から大変、お世話になっております。富田病院様には在宅患者様のレスパイト入院等でお世話になっており、日々皆さまに支えられながら、在宅診療が出来るのだと感じる日々です。

今後「温かい医療を手渡します」の理念のもと、患者様にとって、より身近な存在となれる様、日々精進して参ります。

◎診療科:内科・精神科・神経内科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~13:00	●	★	●	★	●	△
午後 2:00~ 6:00	★	★	★	★	★	△

※●予約外来診 ★訪問診療(対象地域:京都市及び周辺地域)  
※休診日/土・日・祝日

〒600-8428 京都市下京区諏訪町通松原下弁財天町328番地  
ヴァン青雲1階 電話:075-354-3500

交通機関:地下鉄(烏丸線)五条駅2番出口から徒歩3分  
ホームページ <https://syofukai.com>



富田病院 「心臓リハビリテーションのご紹介」

富田病院 リハビリテーション科 宮川貴安



2016年5月より富田病院では心臓リハビリテーションを開始しました。現在コロナウイルスが世界中で猛威を振るっており、一時期心臓リハビリテーションをストップする事態になりました。

現在では、コロナ感染対策とし、外来と入院の患者さんを完全に分け、外来心臓リハビリは1日4~5名程度で実施しています。ソーシャルディスタンスをとり、体操を行ったり、ビニールシートを取り付け隣の方との接触をさける環境で有酸素運動を行っています。

最近では外出の頻度が減り運動不足になる方が多くなっています。運動不足により筋肉の萎縮が起こる事や、ホルモンバランス、呼吸のバランスが崩れ、心拍数や血圧などが乱れる事があります。

運動をする事で、①心臓への効果として心臓の筋肉を養う血管内の血液の流れがよくなり、継続的に行う

と心臓の機能を改善させる効果があると言われてい

ます。②運動能力への効果として、肺の機能や、末梢の血液の流れ、筋肉に対しても効果があると言われてい

ます。③心臓病の原因に対する効果として、例えば動脈硬化症が原因の場合、1、糖尿病、2、高血圧、3、脂質異常症、4、肥満、5、喫煙が考えられ運動療法は1~4などの疾患を予防する事で心臓病の再発を防ぐ効果があると言われてい

ます。心臓リハビリでは、運動をする事だけではなく、自分の体を知る事も大事で、血圧や体重、自覚症状など自己管理も行えるようにサポートしています。ご興味のある方は主治医に一度ご相談下さい。

心臓リハビリ開催日	火	水	金
9:00~10:00	○	○	△
11:00~12:00	△	△	○

